

旧植田家だより

KYU-UEDAKE INFORMATION

Vol. 48

2021年8月発行

令和3年度 春季企画展

旧植田家時計展、時刻巡り

特別企画

旧植田家Zoo宅2021



連載コラム

「落穂拾い - 今東光の薫風 - (四十二)」



<http://kyu-uedakejutaku.jp/>

展示のご案内

本物の偽物、偽物の本物。

令和3年度 夏季企画展

みんなの ぎ 戯 画 展

2021年 7月29日(木)～10月3日(日)
※期間中、一部展示替え(前期～8/30、後期9/1～)
休館日: 火曜日、9/24(金) 開館時間: 9時～17時(最終日は展示室のみ16時まで)

◎8月9日(祝・月) 展示解説の日
10:00-12:00、14:00-16:00(随時)

コロナ予防
・マスク着用
・手指の消毒
・連絡先の確認

偽画? いえいえ戯画です。

八尾市指定文化財 (指定管理: NPO法人HCALD)
安中新田会所跡 旧植田家住宅
〒681-0084 大阪府八尾市植田1-1-25 TEL 072-992-5311 ホームページ <http://kyo-sandaka.jp/kyo/>
(入館料) 一般200円、高齢・大学生100円、中学生以下は無料 ※団体20名以上で半額

夏季企画展「みんなの戯画展」2021年7/29(木)～10/3(日)

本物の偽物、偽物の本物? 見方を変えると意外に楽しい掛軸を一堂に展示しています。

通常展「大和川付替えと植田家の收藏品～月替り編～」10/6(水)～12/24(金)

大和川付替えの歴史や旧植田家に関するパネルの展示に一部收藏品を月替わりで展示します。

※休館日はP15をご覧ください

Contents

- 4 令和3年度 春季企画展
旧植田家時計展、時刻巡り
- 6 4月～5月イベント
中止・中止・延期
- 7 座敷でゆったり講座1
植松地域のむかし話
- 8 特別企画
旧植田家Zoo宅 2021
- 10 四会所だより(28) 鴻池新田会所
- 11 日日植田家住宅 第5日:またまた臨時休館
- 12 こども昔くらし体験 - 夏編 -
- 13 植ちょピ
- 14 コラム「落穂拾い - 今東光の薫風 - (四十二)」
- 15 旧植田家住宅のご案内



表紙写真



ギャラリーにて
バックナンバー
を一部配架中※

※『旧植田家住宅だより』のバックナンバーはホームページからもダウンロードできます。
<http://kyu-uedakejutaku.jp>

《一郎の懐中時計》

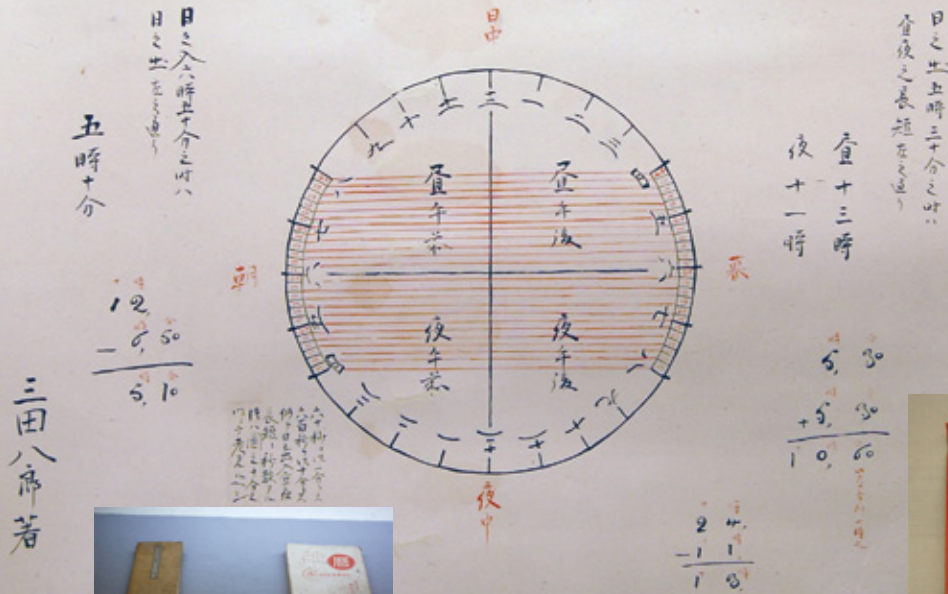
植田家5代目一郎が愛用していた懐中時計。明治頃のいわゆる商館時計とみられ、製造元は不明であるが、特徴からスイス製と思われる。和装に相応しい紐が付いている。企画展「旧植田家時計展、時刻巡り」は4.5頁を参照。



旧植田家時計展、

2021年
4/29(祝・木) ~ 7/12(月)
↓
25(日)
※会期延長

じ かく めぐ
時刻巡り



「西洋時計便覧」(左)
「暦カレンダー」(右)



三田八郎著「時刻の見方図」明治7年頃

令和3年度 春季企画展

旧植田家時計展、時刻巡り

時は令和3年コロナ禍の臨時休館真つ只中、4月29日より春季企画展「旧植田家時計展 時刻巡り」が始まった。正確には臨時休館明けの6月21日(月)からの開催となり、本企画展は予定の期間を2週間延長し、7月25日(日)までとした。

現代を含め旧植田家住宅にある全ての資料は旧植田家の歴史を物語り、それぞれの時代を映し出すものといえる。時代とは膨大な時間の集積に一定の区分を与えたもので、時間はさらに刻むことで時刻となる。この時刻を計るものとして「時計」が使われ、現代生活ではもちろん旧植田家においても長く用いられてきた。

本企画展では、時代毎の文化を反映するものとして、当時の人々がどのように時刻と向き合ってきたのかを収蔵品の時計から読み取り、時には掛けて、ある時は置き、身に着けて、またある時は書き、見て、聞いて、知る「時刻巡り」を試みた。

【掛け時計(箱型・丸型)】

時計の定番である掛け時計は大きく分け

掛け・置き・腕・懐中



ずらり置き時計各種



丸型電池式時計、モーター時計、電気時計



宮型振り子時計 (ボンボン時計)



八角型振り子時計



米国製時計、船時計、大型振り子時計



箱型電池式時計、箱型カレンダー付時計



腕時計と鎖各種



懐中時計 (明治頃)



「列車時刻表 各種」明治～昭和



← 「時計展 展示品目録」

て箱型と丸型に分類ができる。さらに箱型は八角型のものや屋根のついた宮型、長方形などがあり、動力は昔はゼンマイ式が主流であったが、時代とともに電気を使うようになっていった。一方で丸型も大きさや厚み、素材、動力などの違いがあり、時代や用途に応じて進化の過程がみてとれる。

【置き時計】

概ね小型の置き時計は、目覚まし機能付きや意匠の凝ったものが多い。収蔵品のひとつにはドイツ製のオルゴール機能がついたものも見られた。また実用だけでなくインテリアとしても最適な置き時計は、当時贈答品(記念品)としてもよく用いられたことが時計の裏に刻まれた祝いの文字などからうかがえる。

【西洋時計ほか】

そのほか明治時代に暦が替わり時刻の見方が大きく変わった時代の書籍や教育用の掛軸、あるいは懐中時計や腕時計もわずかにのこり、歴史の移り変わりを身近に感じる事ができる。また時刻といえはやはり列車の「時刻表」は欠かせず、今回初出展のものを含めて4点の時刻表を展示した。コロナ禍の今できない旅行の代わりに「時刻巡り」はいかがだろう。

(学芸員 安藤亮)

4～5月のイベント

中止・中止・延期

新年度を迎え、昨年から続く新型コロナウイルスの猛威は収まる様子もなく、予定していたイベントの中止が相次ぎました。といつても、4月頃からの感染拡大がある程度予測し、元々イベントの少ない時期でもあったため、4月はあまり影響がなかったといえます。

それでも4月25日(日)から1カ月以上も「またまた臨時休館」(11頁参照)となり、まずは4月29日～7月12日まで予定していた春季企画展「旧植田家時計展、時刻巡り」が延期、5月初め「旧家で記念撮影」ことも「日」が中止、そして昨年からの企画「畑活用計画(はたプロ)」が2年連続で中止となりました。続く5月16日(日)の「ぶらり大和川～太田・沼周辺」も、緊急事態宣言前の4月中に下見を終えたものの、当日の実施は取り止めました。ちなみにこちらは10月に延期を決め、参加申込みをされた方には改めて連絡が行きますので、今しばらくお待ちください(事務連絡)。

さて、4月～5月のイベントはありませんでしたが、緊急事態宣言と臨時休館明けに備え、中では今後の準備やメンテナンスなど、普段は表に見えない業務に力を注ぎ込んでいます。またこれまで続いている大阪教育大学コラボレーション演習の学生との連携も継続し、日常業務から新企画の提案にも取り組んでもらっています。新型コロナウイルスの終息(収束)に向けて感染対策に取り組むとともに、「安全・安心な」だけではなく「必要・不可欠な」事業を今後も展開できれば幸いです。

(スタッフ)

休館中、庭に×印が!?



犯人はコガネグモでした。

●4月からの覚書

令和3年度(2021年度)

- ・ 4月8日(木)
大阪府 医療非常事態宣言(～5月5日)
 - ・ 4月25日(日)～5月11日(火)
緊急事態宣言(3回目)により臨時休館
 - ・ 4月29日(木)～7月12日(月)
企画展「旧植田家時計展、時刻巡り」▽延期
 - ・ 5月1日(土)～16日(日)
旧家で記念撮影」ことも「日」▽中止
 - ・ 5月8日(土)
畑活用計画(はたプロ)▽中止
 - ・ 5月11日(火)
緊急事態宣言 延長(～5月31日)
 - ・ 5月16日(日)
ぶらり大和川～太田・沼周辺▽延期
 - ・ 5月27日(木)
防火設備点検
 - ・ 5月31日(月)
緊急事態宣言 再延長(～6月20日)
- そして6月へ…

令和3(2021)年度

ざしき 座敷でゆったり講座 こうざ

(全3回)

風通しの良い古民家で



ゆったりと地域の歴史や文化に耳をかたむける。

第1回 植松地域のおかし話 ～「植松地域」や周辺の歴史・文化～ 7/3(土)

座敷でゆったり講座1 植松地域のむかし話

令和3年度の講座(全3回)は、昨年新型コロナウイルスの影響により中止となった講座を再度企画し、コロナ禍に対応した「座敷でゆったり講座」として実施。第一回は旧植田家とも縁の深い植松地域にあるお寺、法覚寺の長老で名誉保護司の山田隆章氏をお招きし、「植松地域や周辺の歴史・文化」について、約1時間お話をうかがった。

今回テーマとなったのは、「コロナ禍」「八尾の気候と地形」「八尾の歴史」「龍華の由来」「植松の由来と渋川神社」「聖徳太子と古戦場」の6つで、話話も交えながらお話をいただいた。コロナ禍については、本講座も6月に予定していたが緊急事態宣言により延期したように、その影響は大きく、ワクチンの問題では人間のあら

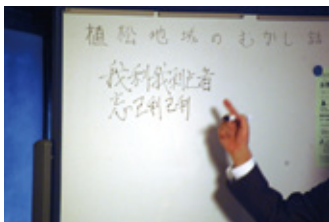


法覚寺長老・山田隆章氏

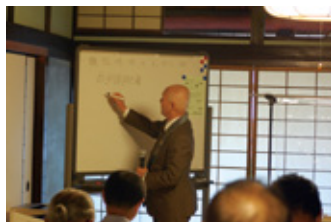
ゆる状態を禅語で示された。また昨今の自然災害の脅威は人災であることや、八尾の歴史については幅広い知識と見識をもって語られ、しばしば頷かされた。

現在八尾市は由義寺の塔の発見や聖徳太子没後千四百年など地域の知られざる歴史によって(一部)盛り上がりを見せている。しかしこの龍華・植松にもまだまだ魅力ある歴史や文化が埋もれていることを山田隆章氏は講座を通じて語られた。

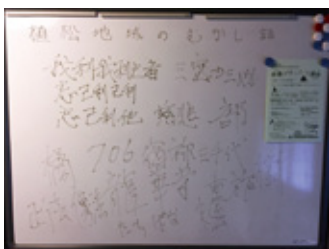
(学芸員 安藤亮)



我利我利亡者、忘己利己利…。



ホワイトボードに板書する隆章氏。



「三密」から「三ベル」へ!

旧植田家住宅が動物園に!?

建物に潜む 動物たち(イラスト)を探して、文化財に親しもう!

特別企画

旧植田家ZOO宅

2021



©Andre

2021(令和3)年

8月1日(日)~9月12日(日)

主屋にて常設(開館時間中のみ)



式台に小さな鹿



土蔵のゾウ



長屋門付近のキリン



動物・建物ガイドBOOK
(100部限定。1冊100円)

見本



特別企画

旧植田家ZOO宅2021

〜建物に潜む動物を探して文化財に親しもう〜

「旧植田家住宅が動物園に!」をコンセプトに、今年8月1日(日)から9月12日(日)までの期間、主屋を中心に初の試みとなる特別企画を開催。建物の約30カ所に隠れた様々な動物たち(イラスト)を見つけて文化財に親しむ企画です。

動物はミニガイドブックに掲載している以外の物も含めて40種以上が居り、建物や場所を案内してくれています。また見つけた動物は缶バッジにでき(制作体験はコロナのため中止。販売のみ)、お土産としても最適です。

新型コロナウイルスの影響で来館者は減っていますが、夏休みの思い出作りに親子で参加をされたり、偶然通りかかって来館したら「意外に楽しめた」という人も急増(?)し、お気に入りの動物たちとも出会えます。また今回は来館時にQRコード付の解説用紙も無料配布していますので、お家に帰ってからも「旧植田家ZOO宅」が楽しんでいただけます。ガイドブックと缶バッジは絶賛販売中。

- 動物・建物ガイドBOOK(1冊100円)
- 缶バッジZOO 30種以上(一個100円)

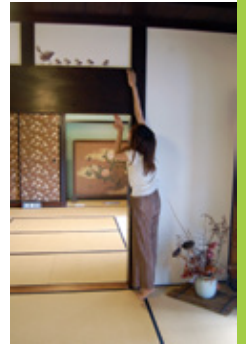


梁(はり)の上にハリネズミを発見!



鴨居のカルガモ親子

建物のいろんなところに 40種以上の動物たちが!



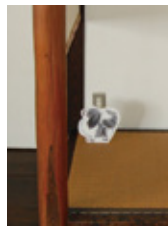
どこ行くのー



この中に3種類の動物が隠れてます



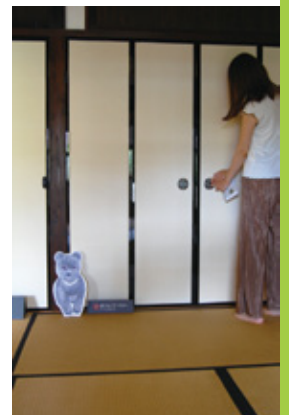
氷式冷蔵庫を開けてみると…



床の間の
「ちんくぐり」



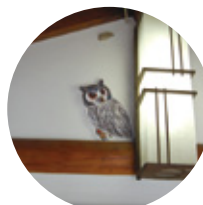
お風呂場のゴマフアザラシ



こちらは開けないで



意外なところにも動物が…



ミミズクとドロバチ
(ジガバチ?)の巣



つし二階のプレーリードッグとミーアキャットたち

四会所だより (28)



長瀬川扇状地

旧植田家住宅(安中新田会所)は長瀬川の堤防上に立地している。1704年の大和川付け替えによって旧大和川筋の河床は新田地となり、その一画を占めた安中新田の経営拠点となっていた。

長瀬川は大和川と石川の合流点付近を谷口として河内平野南端に扇状地をつくりながら流れていた。そこを扇状地と呼ぶことに違和感を覚える読者は多いだろう。従来、この辺りの地形を沖積平野、沖積低地、あるいは氾濫原などと様々な用語で呼んできたが、どれも正解である。さらに地形種を絞り込むならば扇状地と呼ぶことが相応しい。扇状地とは谷口を頂点として下流側に向かって扇形に広がる斜面を指す。

扇状地の川の振る舞いはいかなるものか? 晴天時は広範な上流域に繋がる1本の幹線流路が存在し、荒天になるとその流路から

土砂が溢れ、新たな自然堤防を形成し、あるいは自然堤防が破堤し、流路は転流し、やがて分岐と合流を繰り返す網状流路となる。減水とともに氾濫原には州と流路跡からなる凹凸地形が残り、1本の幹線流路に戻る。扇状地の河川は増水して溢れる度に流路を変えていたと言ってもよいだろう。

今となつては想像しにくいのが、かつての河内平野には扇状地がつくった凹凸地形が現れていたようだ。大庭重信氏を中心とする共同研究(注1)では、およそ2400地点の発掘調査で得られた年代資料と古地表面の標高にもとづき、縄文時代から奈良時代の古地形(各時代の等高線)が復元されている。この復元図には凹凸地形が見事に再現されており、まさしく扇状地での河川の振る舞いが浮かび上がってきたのである。

河床勾配がほとんどない三角州の河川は別として、分岐した幹線流路が晴天時に併存することはありえない。川は常に最も低いところをめがけて流れるからだ。ゆえに人間のコントロールなくして玉串川が長瀬川の分岐流路として併存していたことはあり得ない。玉串川は長瀬川と生駒西麓扇状地に

挟まれた低地を排水する流路を固定し、その流路を二俣で長瀬川に接続した人工的な河川とみなせる。

自然堤防や後背低地を利用する人間にとつて自然状態での河川の振舞いはなにかと厄介なので、溢れないよう、あるいは流路位置が変わらないよう堤防を築いてきた。式内社の分布からすると「玉串川接続工事」は平安時代には終わっているようだ。記紀にみえる「長瀬堤」、「渋川堤」は長瀬川築堤工事が奈良時代に遡ることを示唆する。どうやら河内平野南部の人工的な水文環境の原初は古代にまで遡りそうだ。

(史跡重要文化財鴻田池新田会所 別所秀高)

注1

大庭重信編2020「先史・古代の河内平野南部地域の古地理復元を通じたジオアーケオロジーの実践研究」—2017年度〜2019年度科学研究費基盤(C)

(一般)成果報告書「大阪市文化財協会」([https://](https://www.occpa.or.jp/kenkyu/kaken/kaken_ohba2017-)

www.occpa.or.jp/kenkyu/kaken/kaken_ohba2017-

[2019.pdf/ohbakaken2017-2019_ch01-04.pdf](https://www.occpa.or.jp/kenkyu/kaken/kaken_ohba2017-2019.pdf/ohbakaken2017-2019_ch01-04.pdf)

(2021年7月31日閲覧)

雑記帳
日植田家住字
 - 日常から日用まで -

第5日: またまた臨時休館...



Kyu-kan



Kai-kan

【何回目? 緊急事態宣言】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年4月～5月に続き、2021年4月～6月2度目の臨時休館となりました。これまで大阪には「医療非常事態宣言」や4度の「緊急事態宣言」が発出されています。8月現在は4度目の緊急事態宣言中ですが、休館には至っていません。度重なる緊急事態(有事)が平時になりつつある状況ですが、しっかりとした感染対策をとりながらの開館を心がけています。

【臨時休館中】

4月25日(日)から5月11日(火)までの予定が5月31日(月)、6月20日(日)までへと臨時休館が延長。その間、こどもの日があり、畑では木綿と勝間南瓜がすくすくと育ち、確井豌豆のプランターからは理事長が生えてきました(豆を収穫中の様子)。またそれ以外にブログやツイッターなどのSNSを使って情報を発信しました。開館に備えての準備もばっちりです。



木になる理事長
(豌豆の収穫作業中)



こどもの日



畑

木綿(左)と
勝間南瓜(右)

【再開後】

6月21日(月)、約2ヵ月にわたる臨時休館が明け、すつかり七夕のシーズンに。願い事はもちろんコロナの終息と字がきれいになること。市内各所の公共施設に検温機付オートディスプレイが設置され、受付前でも検温と自動消毒が可能になりました。また以前に支給された空気清浄機が、講座等のイベントでは古民家の特性とも相まって、活躍しています。



①検温自動消毒機の組立て ②設置 ③某AIロボ(漫画)風
④宇宙に願いを(七夕) ⑤コロナ対策仕様の講座セット

むかしの家で、ちょっと昔の夏のくらしを体験しよう。

むかし こども 昔くらし体験 日 たいけん 夏編

あついよ
なつ
夏編

2021年7月24日(土)



板間でゴロゴロ～。



縁側で団扇とアイスで涼む。

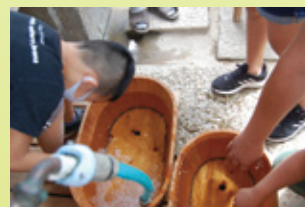
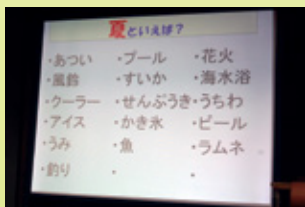
こども昔くらし体験・夏編

新型コロナウイルスの影響で旧植田家住宅へ遊びに来るこどもたちの数もすつかりと減り、そのまま夏休みに突入。毎年実施する「こどもガイド体験講座」を今年は少し趣向を変え、主に昭和の夏のくらしを体験するイベントにし、3名のこどもたちが参加をしてくれました。

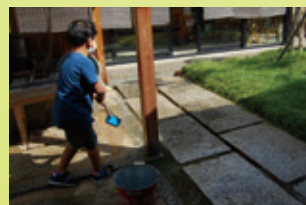
まずは講座室で昔の夏のくらしの話を聴き、みんなで「夏のイメージ」を出し合います。その中で昔からあるものに注目して、夏のくらしを探る建物見学に進みました。クーラーのない昔の家を体験し、快適に過ごすための工夫などを学びました。また井戸水の水温を計って冷たさを体感したり、見学後には井戸水で打ち水も行ないました。「水の○○！」と言いながら豪快に打ち水を楽しむ姿がとても印象的でした。

最後にはめったにできない板間いたのまの上の涼しい場所でゴロゴロする体験(?)と、風がそよぐ座敷の縁側でうちわ片手にアイスをいただき、静かに夏の風情を満喫しました。次回は12月に「冬編」を予定。

(旧植田家住宅スタッフ)



昔の夏のくらしを知ろう→夏のイメージは？→夏のくらしを探そう→ひんやり井戸水→



夏の過ごし方→夏の道具を探そう→打ち水体験→板間でゴロゴロ→縁側で団扇パタパタ

マンジーくん

安富士 暁



「植田家住宅の・ちよっとした・トピックス」

植ちよぴ。(ックス)

・オンラインイベントに参加！

|| 2021年6月20日(日)

長期にわたる臨時休館最終日の6月20日(日)、しおんじやま古墳学習館主催の「オンライントークイベント・古墳カフェVOL.5」が同館YouTubeチャンネルでライブ配信され、旧植田家住宅も参加した。本イベントは「ミュージアムで地域が楽しくなる!? 作戦会議・八尾編」と題して、しおんじやま古墳学習館を中心に八尾市内の文化財関係者らがオンラインを介して集まり、各々活動や事例を紹介した。

参加施設等は次の通り。萩原家住宅 茶吉庵、



背景に使う障子を事務所に移動(リアル背景)

旧植田家住宅、八尾廃校 SATODUKURI BASE、八尾市立歴史民俗資料館、八尾市観光・文化財課。最後には阪南大学国際観光光学部教授の和泉大樹氏からの総評もあり、意外に気付かない施設の魅力や率直な意見が示された。

動画は現在も「ハニワこうてい世界征服チャンネル」(しおんじやま古墳学習館公式 YouTubeチャンネル)にて、その他の動画とともに視聴が可能。八尾人は必見。

・納涼企画「冷やし旧家はじめました」

|| 2021年7月17日(土)〜9月12日(日)

旧家で夏を涼しく過ごす企画「冷やし旧家」を今年も開催。コロナに対応した昨年の縮小版をベースに井戸水での足水体験を一人用として復活したほか、ラムネの販売や簾戸への入替えも行なっている。マスク着用と検温にご協力ください。

.....

◆告知◆

・講座2「幻の銭湯 龍華湯りゅうわうと大工・森口留吉について」 || 9月12日(日)

前号で情報を募集した「龍華湯」と大工・森口留吉に関する座敷でゆったり講座。講師は和田優人氏(銭湯文化研究、銭湯工務店勤務)。

・旧家で観月会(夜間開館) || 9月19日(日)

夜間の旧植田家住宅でお月見。コロナ対策により、とくにイベントはありません(夜間見学のみ)。

状況により中止にする場合があります。

・うえまつ劇場〜お庭で人形劇 紙芝居〜 || 10月23日(土)

こどもからお年寄りまで、旧植田家の庭で人形劇や紙芝居を楽しもう！雨天時は土間予定。

落穂拾い

― 今東光の董風 ― (四十二)

文・伊東健

長編小説「悪名」で扱われている主題のひとつは、朝吉が助ける琴糸の自由廃業という問題です。

自由廃業とは、遊郭で生きざるを得なかった女性が、明治末期に起こした労働運動の一種です。小説の舞台設定は、中国と戦端が開かれていると推定される昭和十二年前後ですが、その頃には自由廃業問題がすでに風化しつつありました。一方で大正末期に生じた松島遊郭の移転をめぐる疑獄事件は政治問題化するほど、闇社会と表社会の利権が絡まり、全国の遊郭問題を象徴するのにびったりでした。そして、なんといっても松島遊郭の歴史が古かったことは東光好みだったのです。

東光は「摂津名所図絵大成」を引用し、松島の地名の由来となった松について語ります。

蛭子ノ松。右同所(寺島)の北の端に

あり。故に此所を松の端(鼻)といふ。幹の太さ凡そ廻り一丈余、枝葉繁茂して水上に垂れ、その景色すこぶる美観なり。この松およそ二百年の星霜を経るといへり。(中略)

大阪郷土史家の牧村史陽君から聞いたのでは、この名高い蛭子の松は明治の末頃まで残っていたということだ。(後略)

(昭和三十六(一九六二)年十月三十日)

新潮社発行「悪名」より

牧村史陽は明治三十一年に大阪船場で生まれ独力で郷土史関係の実地調査や記録作成に打ち込んだ郷土史家であり、東光は特に彼の研究態度に敬意を表していました。東光がいかに牧村に信頼を寄せていたかは次のような文章からもうかがい知れます。

その足で四天王寺本坊の佳陽会に出席して座談を試みる。この会は牧村史陽君の主催で、なかなか好い会員が集って居り、四天王寺関係の会では一番優れた会だ。(中略)

牧村君を単に郷土史家などという見方をしていることは間違ひだし、また下級僧侶だなどと軽蔑していることは以てのほか

なのだ。同君の「大阪ことば辞典」という名著は後世に範を垂れる著述で、これまた四天王寺の諸事家中、最も優れたものの一つだろう。不思議に大阪府市の文化賞に洩れたが、こんな名著を逸するようでは、大阪の文化賞などというものも、実は他愛もない鉛の勳章みたいなものだ。雨つづきの数日、はじめて月を踏んで帰った。

(鴨東雜記「中外日報昭和三十二(一九五七)年

二月十六日掲載)

牧村史陽をはじめ多くの郷土史研究の精華があつて、東光作品の生地が出来あがっていることを誰よりも東光はよく知っていました。牧村史陽がいかに足で稼いだ歴史家であったかは大阪都市遺産研究センターに残されている「牧村史陽氏旧蔵写真」のコレクションからも知ることができます。ご興味のある方は、ぜひ左記URLにアクセスしてみてください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>

[osaka-toshi/doc_makimura.html](https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/osaka-toshi/doc_makimura.html)

(関西大学なにわ大阪研究センター(旧大阪都市遺産研究センター「所蔵資料」サイト))

植田家住宅のご案内

【2021年9月～12月】

これからの展示・イベント

毎月第1土曜日は「河内木綿体験(5組限定)」

// 第3日曜日は「むかし遊びの日」を開催!

展示

2021年

◎7月16日(金)～10月3日(日)

夏季企画展「みんなの戯画(ぎが)展」

◎10月6日(水)～10月24日(金)

通常展「大和川付替えと植田家の収蔵品
～月替わり編～」

コロナ対策(マスク着用・3密回避・人数制限など)実施につき、ご協力よろしくお願ひします。

展示、イベント等のお知らせは
ホームページもご覧ください
<http://kyu-uedakejutaku.jp/>



イベント

(詳しくはお問い合わせください)

9月 12日(日) 講座2「幻の銭湯“龍華湯”と大工・森口留吉について」
19日(日) 旧家で観月会(夜間開館)

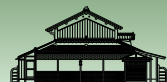
10月 17日(日) ぶらり大和川～太田・沼周辺～
23日(土) うえまつ劇場～お庭で人形劇・紙芝居～

11月 ★11/3(水・祝)～23(火・祝) 旧家で記念撮影 ～七五三～
★11/5(金)～12/24(金) ギャラリー展示「航空写真にみる八尾」
7日(日) 八尾の古民家をのこす・いかす・あそぶ”フォーラム
20日(土) 植松灯笼の日&ランプの灯り展(夜間開館)

☆20日(土)・21日(日) 関西文化の日(無料入館日)

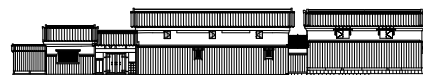
12月 11日(土) こども昔くらし体験～冬編～
12日(日) 講座3「古民家の今とこれから」(仮)

※予定は変更になる場合があります。



休館日カレンダー

■ = 休館日



9 September

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

10 October

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

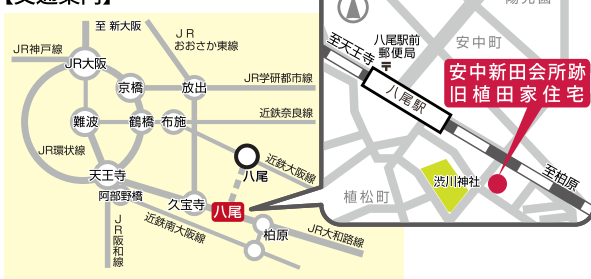
11 November

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

12 December

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

【交通案内】



◇JR大和路線「八尾」駅下車、南出口より東へ徒歩約3分

◇近鉄大阪線「近鉄八尾」駅から近鉄バス藤井寺駅前行
JR八尾駅前バス停下車、南東へ徒歩約5分

※当施設には駐車場はありません。車での来館はご遠慮ください。

●開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休館日：火曜日・祝日の翌日・年末年始
(詳しくは休館日カレンダーをご覧ください)

●入館料：一般250円(団体20人以上で120円)
高校・大学生120円(団体60円)

※中学生以下、身体障害者手帳等の所持者および介助者は無料

●お問い合わせ・見学のご相談(ご予約)

〒581-0084 大阪府八尾市植松町1-1-25

TEL/FAX: 072-992-5311

E-mail: info@kyu-uedakejutaku.jp

#編集日記(8/15)

8月に入り、今回で4度目となる「緊急事態宣言」が発出されました。再び臨時休館になることを覚悟していましたが、今回は「感染対策を続けるための開館」という判断が大府(八尾市)でなされました。これも4年に一度の大規模なイベントがコロナ禍に開催されたおかげだと思っています。旧植田家住宅のような小規模施設でも万全のコロナ対策を心がけるときは、イベントを中止し対策を期待しています。

本当の幸せって？ 本当の豊かさとは？

モノや情報があふれ、それを大量に消費する社会。
人々の価値観は変わり続け、本当に大切なものは・・・

そのような中、人々の考え方は「利己から利他へ」「古き良きものを見つめ直す」のように、
人とのつながり、過去と未来のつながり、社会とのつながりを求めるよう
変化してきているのではないのでしょうか？

私たち、株式会社シーズクリエイトは情報を提供する立場にあります。
その情報を活かし、地域のヒト・コト・モノとネットワークを築き、
そのつなぎ役を担うことで新たなコミュニティを創造し、
地域経済を活性化させたいと思っています。

